さいころ2個の 確率

中2／解き方プリント 項目5／目標 15分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

きまり① 大小2個の さいころは 大・小を 区別して 6 × 6＝36通り。表の 1マスが 1つの 出方

きまり② 和の 値（2〜12）や 積の 値は 同じ 程度には 起こらない。数えるのは 値でなく マス

きまり③ 条件に 合う マスに ○を つけて 数え、確率 ＝ ○の 数 ÷ 36（約分する）

れい 目の 和が 4に なる → (1, 3)(2, 2)(3, 1) の ○は 3マス → $\frac{3}{36} = \frac{1}{12}$

◎ (1, 3) と (3, 1) は 別の マスに 数える

× 和は 2〜12の 11通りだから $\frac{1}{11}$

・「さいころ2個」の 問題。くじ・玉・さいころ・硬貨は どの 結果も 同じ 程度に 起こる ものと する。
大問1・3は、問ごとに ある 表で、問題文の 条件に 合う マスに ○を つけ、その 問の 2つの 四角に 出方の 数（数だけ）と 確率（約分した 分数）を 書く。表は 左が 大、上が 小の さいころの 目。

・大問2は、文が 正しいか まちがいかを ○で かこむ。

・大問4は、「正しい」「まちがい」の どちらかを ○で かこみ、まちがいなら 正しい 答えを、正しい 答案なら「同じ」と 四角に 書く。

大問1 和が 6に なる 出方

(1)

大＼小	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	7
2	3	4	5	6	7	8
3	4	5	6	7	8	9
4	5	6	7	8	9	10
5	6	7	8	9	10	11
6	7	8	9	10	11	12

表の 数は 目の 和。

目の 和が 6に なる マスに ○を つけて 数える。

出方の 数 ＿＿＿＿ 通り 確率 ＿＿＿＿

大問2 文が 正しいか

(1) **目の 和は 2から 12までの 11通りで、どれも 同じ 程度に 起こる。** 正しい まちがい

大問3 一方が 3、もう 一方が 5

(1)

大＼小	1	2	3	4	5	6
1						
2						
3						
4						
5						
6						

一方の 目が 3、

もう 一方の 目が 5に なる マスに ○を つけて 数える。

出方の 数 ＿＿＿＿ 通り 確率 ＿＿＿＿

大問4 答案を 調べて 直す

(1) **目の 積が 奇数に なる 確率を、さくらさんは「奇数と 偶数が 半分ずつだから $\frac{1}{2}$」と 答えた。**

正しい まちがい

正しい答え ＿＿＿＿

(2) **小の目が 大の目の 約数に なる 確率を、さくらさんは「14通りだから $\frac{14}{36} = \frac{7}{18}$」と 答えた。**

正しい まちがい

正しい答え ＿＿＿＿

見直し □ マスを 1つずつ 数えた □ 大小を 入れかえた 組も 数えた □ 分母は 36か 確かめた まちがい（ ）問

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「確率」のプリント一覧がひらきます

さいころ2個の 確率【こたえ】

中2／解き方プリント 項目5／目標 15分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

きまり① 大小2個の さいころは 大・小を 区別して 6 × 6＝36通り。表の 1マスが 1つの 出方

きまり② 和の 値（2〜12）や 積の 値は 同じ 程度には 起こらない。数えるのは 値でなく マス

きまり③ 条件に 合う マスに ○を つけて 数え、確率 ＝ ○の 数 ÷ 36（約分する）

れい 目の 和が 4に なる → (1, 3)(2, 2)(3, 1) の ○は 3マス → $\frac{3}{36} = \frac{1}{12}$

○ (1, 3) と (3, 1) は 別の マスに 数える

× 和は 2〜12の 11通りだから $\frac{1}{11}$

大問1 和が 6に なる 出方

(1)

大＼小	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	7
2	3	4	5	6	7	8
3	4	5	6	7	8	9
4	5	6	7	8	9	10
5	6	7	8	9	10	11
6	7	8	9	10	11	12

表の 数は 目の 和。

目の 和が 6に なる マスに ○を つけて 数える。

出方の 数 **5** 通り 確率 **$\frac{5}{36}$**

○は 5マス → $\frac{5}{36}$

大問2 文が 正しいか

(1) **目の 和は 2から 12までの 11通りで、どれも 同じ 程度に 起こる。** 正しい **まちがい**

大問3 一方が 3、もう 一方が 5

(1)

大＼小	1	2	3	4	5	6
1						
2						
3					○	
4						
5			○			
6						

一方の 目が 3、

もう 一方の 目が 5に なる マスに ○を つけて 数える。

出方の 数 **2** 通り 確率 **$\frac{1}{18}$**

○は 2マス → $\frac{2}{36} = \frac{1}{18}$

大問4 答案を 調べて 直す

(1) **目の 積が 奇数に なる 確率を、さくらさんは「奇数と 偶数が 半分ずつだから $\frac{1}{2}$」と 答えた。**

正しい **まちがい**

正しい答え **$\frac{1}{4}$**

(2) **小の目が 大の目の 約数に なる 確率を、さくらさんは「14通りだから $\frac{14}{36} = \frac{7}{18}$」と 答えた。**

正しい まちがい

正しい答え **同じ**

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

大問1 (1) 5通り・$\frac{5}{36}$。和が 6に なる 組は (1,5)(2,4)(3,3)(4,2)(5,1)。和の 値の 種類（11通り）でなく、マスで 数える。

大問2 まちがい（和の 出方は 同じ 程度に 起こらない。和が 7の マスは 6つ、2の マスは 1つ）。

大問3 (1) 2通り・$\frac{1}{18}$。(3, 5) と (5, 3) は 別の マス。1通りと 数えない。

大問4 (1)「奇数と 偶数が 半分ずつと 考えた（積が 奇数に なるのは 大も 小も 奇数の ときだけ）」→ $\frac{1}{4}$。(2) は 正しい 答案（答えは「同じ」）。(2) の 14通りは 大の目ごとに 1・2・2・3・2・4。

別解の 扱い：確率は 約分した 分数（上下でも 斜め線でも ○。小数・百分率・約分前は × ）。場合の数は 数だけ（「通り」は あっても ○）。